



泉丘SSHだより



第6号 H23.8.24

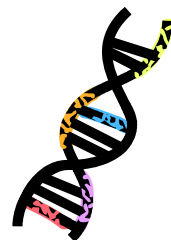
編集: SSH推進室

発行責任者: 村澤 勉

石川県立金沢泉丘高等学校

人間科学 特別講義

理数科 2 年生



7月15日(金)の5、6限目に人間科学の特別講義が行われました。今回の講師は福井大学医学部教授の中本安成先生で、「未来医療における倫理性」という演題で講演して下さいました。内容はコスモサイエンスⅡの特別講義に引き続き、倫理について考えるものでした。これらの講義を受けることで、生徒達は倫理と医療や技術の関係について少なからず見えてくるものがあったのではないのでしょうか。以下に生徒の感想を紹介します。



今回の講義では、医療が発展するにつれて問われることが多くなった倫理について学ぶことができた。ナチスドイツが行った人体実験やタスキギー梅毒の実験など、本来人の命を救う立場の研究者や医師が実験とはいえ多くの人間を虐殺していった「事件」はかなり衝撃的だった。多くの人間が虐殺されたことで開発された治療薬があり、その恩恵で私たちの病気が癒されるということは決して忘れてはいけない事だと感じた。

先生がおっしゃっていた言葉で最も印象に残ったことは、「神が造ったものを私たちは1%も解明できていない。」ということだった。沖縄県でハブ駆除のためにマングースを放したところ、天然記念動物が襲われて、その数が激減したそうだ。実験でも研究でも結果を推定しきれないことは多く、それは人間の知恵の限界だそうだ。私はこの言葉に少し安心した。医療が発達し、自然の摂理を超越することが可能かもしれないと言われているが、解明すらできないものを超越することは絶対に不可能だと思った。将来は一つ一つの命を簡単に延ばしたりしないで、尊いものとして向き合っていける医者になりたいと思った。今回、すばらしい講義が聞けて本当に嬉しかった。本当にありがとうございました。

私はまず、死亡原因の中でがんが増加していることで、この病気に対する怖さを感じた。医療が発達して、他の病気に対する治療法が確立して行くのに、がんに対しては有効な手段がないというのが原因だそうだ。

また、肝臓の病気については、がんだけでなくB型肝炎やC型肝炎も重大なものだということを知った。一つの病気を治そうとすると、副作用によって他の症状が出てくるという点が、医療のとても難しい点だと知った。

非常に小さな点を使って遺伝子情報を表すマイクロアレイという技術の話からは、医療の発達には工学など一見医療とは関係のないようなものが役に立っていることを知り、面白いと感じた。

2年になって人間科学ではたびたび倫理というテーマを扱ってきているが、やはり倫理というものは難しい。今回はナチスドイツの毒ガス実験や、アメリカでの梅毒の実験など人体実験に関することについても学んだ。また、生命医学・医療倫理の原則というものも学んだ。このような原則があるのはとても分かりやすく良いと思った。「てんびん」の釣り合いを自分の中で考えられるような科学者になりたい。



技術、医療というものは生命の倫理を考えない実験によって進歩するところがある。しかし、医学のために人間がいるのではなく、人間のために医学があるということ、医学の対象は病気ではなく人間であるということを考え、技術の革新と生命倫理のバランスを考えていかなければならないと思った。

この講義で、これからの医学技術の在り方、人間と技術のバランス等について理解が深まったと思う。非常に有意義な時間を過ごすことができた。

白山野外実習

理数科 1 年生

7月28日～7月29日に1泊2日の日程で、理数科の伝統行事である白山野外実習が行われました。

1日目

学校集合：出発式 → 学校出発 → 別当出合

→ 甚之助小屋 → 南竜分岐 → 南竜山荘

朝7時、集合時刻前に全員が集合し、時間通りに出発式を行うことができました。天気は曇りでしたが、別当出合に着く頃には雨が降り始めていました。悪天候のため、最低限の休憩をとりつつ、南竜山荘へ。水平道にでると色とりどりの花々が現れ、生徒達は夢中で写真をとっていました。南竜山荘では沸点測定を行い、夕食をとった後に自然解説員の方からスライドで高山植物や白山の地形についての説明を受けました。外へでると、雨があがり晴れ間が……。数年ぶりに星空の天体観測を行うことができました。この日は新月の前日ということで絶好の観察日となりました。大勢の生徒が星空を見上げ、澤田先生の解説に耳を傾けていました。水瓶座流星群による流れ星は、いくつか見つけられたのでしょうか？

別当出合
集合写真



2日目

南竜山荘 → 室堂（空荷） → 御前峰 → 室堂 → 黒ボコ岩

→ 南竜分岐 → 甚之助小屋 → 別当出合 → 学校到着：解散式

御前峰
頂上にて



2日目、朝起きて外を見るとガスがかかっています。南竜山荘を出発しエコーラインを通過して室堂へ向かいました。室堂センターへ到着後、センター周辺で沸点測定をするグループと御前峰へ向かうグループに分けられました。遠くの景色は期待できない状態でしたが大勢の生徒が山頂を目指し、無事2702mの頂上に立つことができました。風が強く、写真撮影後はすぐに下山。室堂センターで休憩をとった後、別当出合を目指して出発しました。視界が悪く観察をしにくい状況でしたが、生徒達は植物や岩など、必要なところでは立ち止まって記録をとっていました。

今年は2日もあいにくの空模様となりましたが、全員無事に白山道を踏破することができました。2日間の出来事はそれぞれの中で貴重な体験となったのではないのでしょうか。お世話になった全ての方々に感謝いたします。



生物学オリンピック、化学グランプリ 本戦進出！

7月17日（日）に生物オリンピックの予選が行われました。**20Hの工藤 健太さん**が見事本戦へと進出しました！本戦は8月18日（木）から8月21日（日）の日程で、広島大学東広島キャンパスで行われました。

また、7月18日（月・祝）には化学グランプリの1次選考が行われ、**39Hの釣本 翔太さん**が見事2次選考へ進出しました！2次選考は8月19日（金）から8月20日（土）の日程で、慶應義塾大学日吉キャンパスで行われました。

工藤さん、釣本さん、おめでとうございます！また、数学オリンピックはまだ参加者募集中です。参加希望者は地野先生まで！10月31日が締め切りです。